

学 習 計 画

(学年 1) (科目名 国語総合)

学 期	学習項目	学習内容・方法
1	<p>『「差」という情報』</p> <p>『「わらしべ長者」の経済学』</p> <p>「羅生門」</p> <p>古文入門</p> <p>「児のそら寝」</p>	<p>随想の、主題の理解を深める。「濃密な時間」と「薄い時間」との対比を読み解いたうえで、筆者が抱いた「妙な気持ち」の内実（理由）を、風呂のたとえやW杯の例を参考にして追究する。</p> <p>小説の基礎的な読解を深める。作品全体を通読して、小説の楽しさを感じ、構成と展開をつかむ。本文を読み、登場人物像・主題を考える。</p> <p>論理的な評論読解。接続語の働きや指示語の内容から、前後の文章の関係を論理的に読み取る。想像力が、社会や未来を成り立たせている関係を読み取る。</p> <p>小説の読解力を高める。文章の内容を理解し、心情を味わう。また、小説全体の構成と展開を把握し、主題を考える。</p> <p>『竹取物語』などの冒頭文を読み、リズムや調子の違いを感じ取る。豊かな古典世界への第一歩として音読したり、内容を把握する。また、歴史的仮名遣いを復習する。</p>
2	<p>「ナイン」</p> <p>『徒然草』 「つれづれなるままに」 『枕草子』「春はあけぼの」 『土佐日記』「門出」</p> <p>「旅する本」</p> <p>漢文入門 訓読の基本 「矛盾」</p>	<p>登場人物の心情の変化を押さえさせる。下人の思いが、楼上で老婆を見ることにより、全く正反対の思いへと変化する。その変化の大きさとなぜそのように変化したかを読み取る。</p> <p>「をかし」という言葉を多用し、平安 時代・摂関期の貴族社会や自然美を主題として描いた『枕草子』を読むことで、昔の人が書き表してきた折々の思いや考えを学ぶ。</p> <p>評論を読み、文章の構成・展開を理解し、論旨を捉える。また、筆者の見解をもとに、自己と社会とのかかわりについて考え、物事を深く考える 態度を養う。</p> <p>訓読の基本を学習する。 重要な句法を整理する。繰り返し用いられる助字（也、之）の用法を理解する。狐は虎にどう言って自分を信用させようとしたのか、虎は結局何をどう捉えたのか、などを読み取る。</p>

3	漢文 「狐借虎威」 唐詩「登鶴鵲樓」 唐詩「送元二使安西」 「清兵衛と瓢箪」	漢文を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。漢詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。 筆者の体験を通して、微妙な人間関係について考える。 筆者がこの文章で伝えなかった思いに迫り、自らの考えを深める。
---	--	--